



車イスがピカピカに

車イスを磨くボーイスカウトの団員

9月24日、ボーイスカウト曾於第6団が特別養護老人ホーム「輪光無量寿園」で車イス磨きの奉仕活動を行いました。

この活動は毎年敬老の日の頃に行っており、今年で34回目になります。当日はスカウトが車イス約30台の清掃を行い、1台ずつ磨きあげていきました。

参加したスカウトは「きれいになった車椅子を喜んでもらい、うれしかったです」と話しました。ボーイスカウトでは、仲間を募集しています。入隊までの案内は曾於第6団ブログをご覧ください。



「敗戦の思い」を形に

作詞作曲した小林さん（右から2番目）

小林範三さん（都城市）が、太平洋戦争の敗戦直後に作った歌「終戦の詩」がCD化されました。

小林さんは大隅町岩川で幼少期を過ごし、旧海軍航空隊『芙蓉部隊』の基地建設に学徒動員された体験をお持ちです。「敗戦のことは今でも忘れられない。歌詞もメロディーも自然と生まれた」と話します。

岩川出身の前田孝子さんがCD化を勧め、義兄の片倉輝男さんに編曲を依頼。CDを聴いた小林さんは「拔群のできで感謝しています」と話しました。CDの問い合わせは、さわ写真館099（482）02008



初めての菊摘みを楽しむ参加者

ツアーで初めての体験

9月15日と16日、トマト収穫体験&菊の花摘み体験ツアーとそば打ち体験、ゴッタン体験と青ゆず収穫体験ツアーが行われ、鹿児島方面からの参加者が集まりました。

菊の花摘みは、ツアーとしても初めて組まれたもので、参加者の方々も初体験の方がほとんど。そば打ちも悪戦苦闘しながらも、楽しんで参加され、他のどの体験でもそれぞれ目一杯楽しんだ様子でした。

参加者は「曾於市のおもてなしに感動しました。次回も楽しみにしています」と話しました。



黒豚肉の給食を頬張る児童

9月6日、株式会社ナンチクが市内小中学校の給食に黒豚肉とウインナーを提供しました。

同社は年2回、曾於市・志布志市・大崎町の全小中学校に地産地消と食育の一環で黒豚肉を提供しています。今回は10年記念ということで黒豚荒挽きウインナーも提供されました。

末吉小学校では『黒豚スタミナどんぶり』『ジャーマンポテト』として児童に振る舞われました。同小1年の谷口泰智さんは「給食を食べると速く走れそうです。とってもおいしいです」と話しました。

ナンチクがクロの日に黒豚肉を提供



実演を熱心に見入る参加者

救急の日に救命講習会

9月9日、末吉総合体育館で救命講習会が開催されました。この講習は平成21年から始まり、今年で7回目。心停止傷病者の初期段階での救命に最も有効であるAED（自動体外式除細動器）の取り扱いを中心に行われました。救急救命士による実演では、仮装や鹿兒島弁を交えながら分かりやすくAEDの使い方を参加者へ伝えていました。

参加者は「いざ、というときに動けるように講習を重ねていきたいです」と話しました。



一輪車でのパフォーマンスを披露する児童

岩南小創立140周年記念式典

9月25日、岩南小学校で創立140周年記念式典が開催されました。

明治5年、岩崎分校として設立し明治9年、岩崎小学校に改称。『清く・明るく・たくましく』の校訓と『花とカヌーとICTの学校』のキャッチフレーズで140年の歴史を積み上げてきました。

コーラス野ばらと児童の合唱や鹿屋中央高校吹奏楽部の演奏があり、式典に花を添えました。記念事業実行委員長の片田昭一さんは「岩南小学校のますますの活躍を願っています」と話しました。



『鶏・マーくん』を撮影するTBSスタッフ

マトヤ技研の「鶏・マーくん」TBSで放送

9月23日、マトヤ技研（末吉町南之郷）がTBSテレビの取材を受け、10月23日に放送されました。毎週日曜放送（午後7時56分）の『珍種目No.1は誰だ!?ピラミッドダービー』内で、鶏肉のぼんじりから自動で骨を除去する『鶏・マーくん』で工業用マシンの速さを競う工場マシンスピードダービーに出場。マトヤ技研の商品開発と技術力が高く評価されての出場となりました。



リレーで子どもと併走するナンチク陸上部員

諏訪小運動会にナンチク女子陸上部が参加

9月25日、諏訪小学校・諏訪校区合同秋季大運動会にスペシャルゲストとしてナンチク女子陸上部の皆さんが参加しました。

リレーや色水で一升瓶をはやく一杯にする『あわてずゆつくり』など数種目に出場し会場を沸かせました。

同陸上部の平田紗也さんと一瀬遙香さんは「貴重な体験ができました。子どもたちや校区の皆さんに喜んでもらいよかったです」と話しました。

今後も総合的な学習の時間に交流活動を行う予定です。



コメリと協定締結

協定を結んだコメリ災害対策センターと市長

9月29日、NPO法人コメリ災害対策センターと協定を結びました。こちらの団体は株式会社コメリが平成17年に設立し、コメリ緑資金の助成を受けて活動しています。災害時にはブルーシートなどの救済物資を迅速に被災地へ届けたり、防災啓発活動などにも精力的に取り組んでいます。五位塚市長は「曾於市が被災したときは、必要な物資を迅速かつ円滑に供給していただけるようになった」と話しました。



ゼンリンと協定締結

協定を結んだ株式会社ゼンリンと市長

9月16日、株式会社ゼンリンと協定を結びました。災害発生から即時に住宅地図を利用できる環境を構築し、災害対応に役立つ実用性の高い地図を予め用意しておくことで、より迅速な災害対応が可能になると考えられ協定が締結されました。この会社はこれまでに、全国各地で起きた災害等に、住宅地図の提供を中心被災地への支援を行ってきました。五位塚市長は「今回の協定は、曾於市の防災・減災対策をさらに強化できるものになると思います」と話しました。



講師の中村朋美さん

魅力アップを目指して

10月5日、末吉総合センターで「魅力アップ・マナーアップセミナー」が開催されました。講師はフリーアナウンサーの中村朋美さん。セミナーは6月、8月、10月の全3回行われ、延べ73人が受講しました。セミナーはリラックスした雰囲気の中行われ、コミュニケーション術やマナー、自己紹介方法などについて実践を交えながら学びました。参加者は「さっそく職場で役立つように練習したい」「会話美人を目指します」と話しました。



タイトル：「群」（100号S）

ふるさとへ絵画を寄贈

財部町出身の画家、有村隆雄さんが財部中央公民館に作品を寄贈しました。財部で農業をしていた有村さんは21歳のとき、名古屋に就職。アルミニウム板の製造工場で働きながら絵画を学びました。「作品にとっても、ふるさととの曾於市に置いてもらうのがいい」と願成寺住職の藤本高明さんを通じ寄贈することになりました。五位塚市長は「絵のまち、畜産のまち曾於市にぴったり。多くの方が目に來られることを願っています」と話しました。